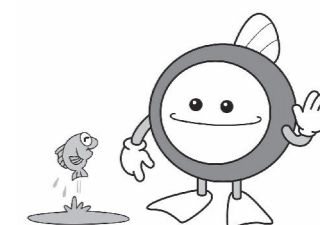


# 9月10日は 第56回「下水道の日」

9月10日を中心とした前後1週間の「下水道の日PR期間」は、関連事業などを実施し、下水道の普及促進に取り組んでいます。



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

## 「下水道の日」のいわれ

毎年9月10日は「下水道の日」です。この日は、台風シーズンである「二十十日」から10日過ぎた220日目に当たり、台風による大雨に備える趣旨と下水道の大きな役割である「雨水の排除」にちなみ、昭和36年に「全国下水道促進デー」として定められました。そして、平成13年に旧下水道法制定100周年を記念し、より親しみのある名称として「下水道の日」と改称されました。

## 下水道の役割について

下水道には、川や海など水環境を改善し、生態系を守るという重要な役割があります。

家庭や事業所から出された汚水を川や海などに直接流してしまうと、水質が汚染され、川や海などに暮らす魚や昆虫、植物などの生態系を壊してしまいます。また、汚水の臭いなどが都市の景観を損ねてしまうことから、生活環境にも影響を及ぼします。

下水道は、皆さんの安全で快適な

## 下水道整備で改善されるマチの水環境

### 【下水道整備前】



家庭や事業所から出された汚水が川や海などに直接流れ込むため、水質が汚染されて生態系を壊してしまいます。



### 【下水道整備後】



下水道整備により、汚水が正しく処理されるため、川や海などの水質改善にもつながり、マチの水環境も改善されます。

## 留萌市の下水道整備

生活を守り、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。下水道を整備することで、汚水が川や海などに直接流れ込むのを防いでおり、河川や湖沼、海など公用水域の水質汚染防止のために重要な役割を果たしています。

市の公共下水道は、昭和52年2月から整備され、平成27年度末の整備面積は508ヘクタール（事業区域

面積に対する整備率80.9%）となっており、市内で下水道を利用できる人は、市民全体の84.4%に当たる1万8819人で、このうち87.6%の方が水洗化しています。しかし、多額の事業費を投じて下水道を整備しても、地域ぐるみで利用しなければ、その地域の環境を良くすることはできません。下水道の目的を達成していくためには、皆さん一人ひとりが環境改善の意識を持って利用していくことがとても大切です。

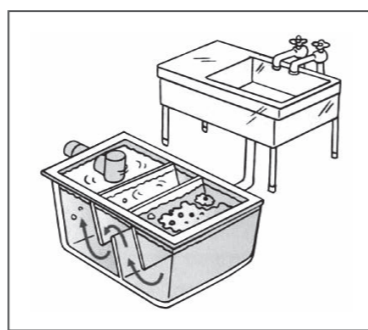
## ■グリーストラップを設置している皆さんへ

### ●グリーストラップは適正に管理をしましょう

飲食店などの油脂分を含む排水は、下水道本管を閉塞させる原因となるため、定期的にグリーストラップの清掃が必要です。

適正な管理を怠り、油脂分を流出させて下水道本管を詰まらせた場合は、下水道本管の清掃費用を負担していただく場合がありますのでご注意ください。

適正な維持管理を行い、下水道を正しく使用しましょう。



## ■排水設備工事責任技術者 全道統一試験のお知らせ

▼市では、排水設備指定工事店の資格要件に排水設備責任技術者制度を導入しています。北海道地方下水道協会主催の全道統一試験が次のとおり行われます。詳しくは下記へお問い合わせください。

### ●平成28年度北海道排水設備工事責任技術者試験

日 10月26日(水) 13:30～15:30

所 旭川市民文化会館（旭川市7条通9丁目）

費 受験料 5,000円

申 8月24日(水)から9月2日(金)までに下記へお申し込みください。（土・日曜を除く）

問市・上下水道課 ☎ 42-2049

## ■留萌浄化センターの役割について



▼留萌浄化センターでは、家庭や事業所から出された汚水を浄化し、きれいな水にしています。

家庭や事業所から出された汚水は、留萌浄化センターで適正に処理され、浄化したきれいな水になってから留萌川に流されます。浄化したきれいな水を川や海などに戻すことで、水質が保全され、マチの水環境が改善されます。

汚れた川の水質が改善されてきれいになると、本来の生態系がよみがえります。市では、留萌の美しい自然と住みよい生活環境実現のため、下水道整備を推進しています。

皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いします。

### ▲留萌浄化センター

### ◎留萌浄化センターを一般公開します！

▼「下水道の日」に合わせ、留萌浄化センターを一般公開します。

当日は、担当者が留萌浄化センターの施設を案内しながら、留萌浄化センターや下水道の役割などについて分かりやすく説明します。

ご希望の方は当日、留萌浄化センターにお集まりください。

日 9月6日(火)、13日(火)

① 11:00～ ② 14:00～

所 留萌浄化センター（船場町1丁目）



▲汚水処理の仕組みを学ぶ子どもたち

問市・上下水道課 ☎ 42-2049